



安政5年(1858)、米国総領事ハリスをはじめ、米・蘭・露・英・仏の五カ国と江戸幕府の大老井伊直弼との間に結ばれた修好通商条約によって、明治元年「築地居留地」が設定されました。

1990年
築地居留地研究会発足

2000年
設立10周年
研究会誌第1号発行

2007年
築地居留地研究会
NPO法人化

2010年
第3回外国人居留地研究会
全国大会を主催

2013年
水野理事長就任
研究活動を加速

主催：NPO法人築地居留地研究会
後援：中央区



「カナダメソジスト教会と婦人宣教師の働き」

深町 正信 (東洋英和女学院院長)

昨年、東洋英和女学院は創立130周年を迎え、また、幼稚園の開設100周年、大学の横浜キャンパス開設25周年を覚えて、様々な記念行事を実施致しました。

来る9月の築地居留地研究会では、カナダメソジスト教会婦人ミッションの日本に於ける働きを東洋英和女学院を中心として、その当時の日本に派遣された宣教師たちの働きの一端を考察してみたいと思います。東洋英和は村岡花子の卒業した学校です。

日時：平成27年9月26日（土）14:00～16:00

場所：聖路加国際大学 602号室

セミナー終了後講師を囲んでの茶話会を行います。茶話会参加費は ¥500

連絡先：ミズノプリンティングミュージアム内、03-3551-7595 担当村山

